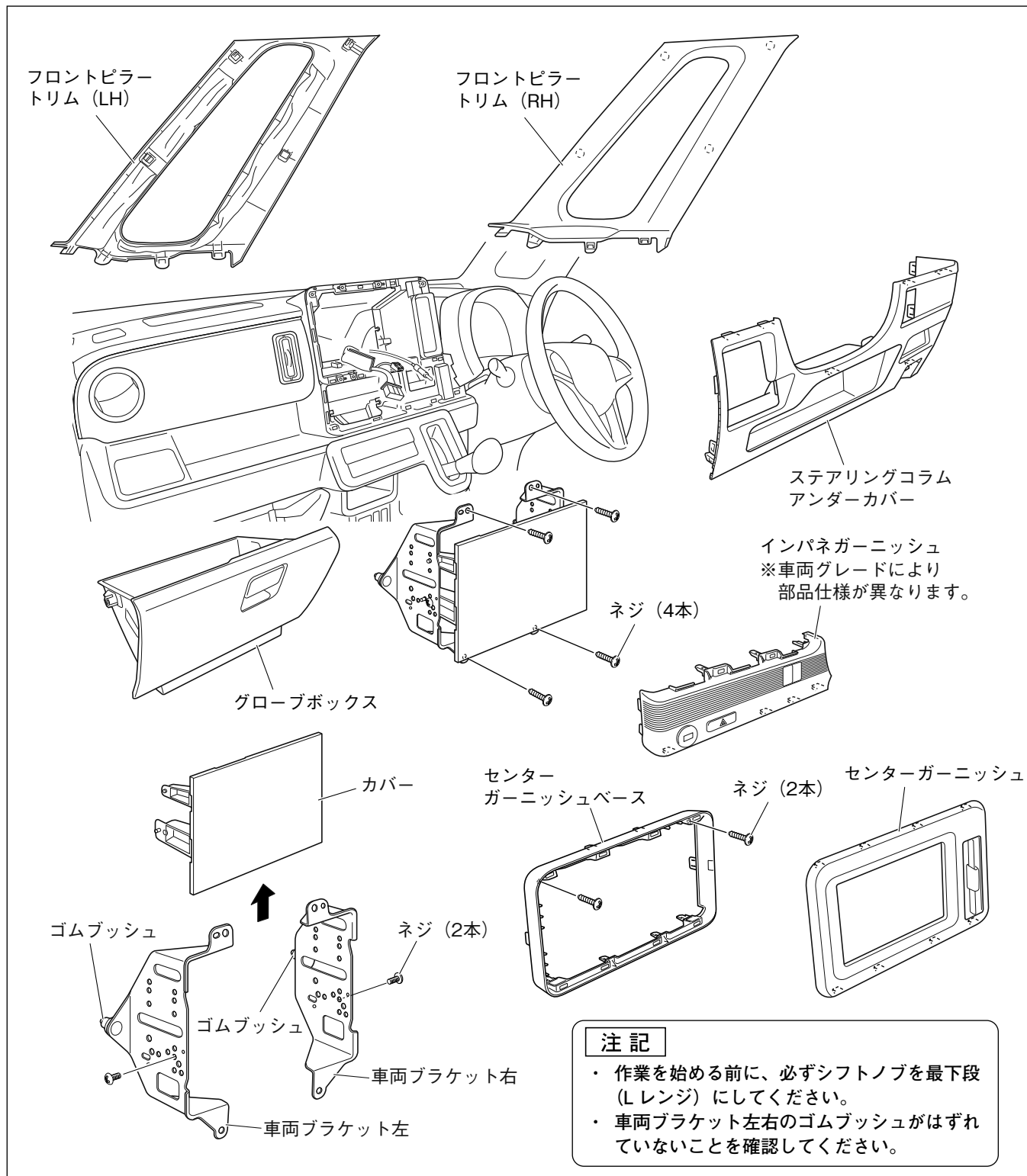


■ ワゴンRスマイル (3型)

● 共通編も合わせて参照ください。

■ 車両部品の取り外し



1. フロントピラートリム (LH/RH) を取り外します。
2. センターガーニッシュを取り外します。(クリップ8箇所)
3. センターガーニッシュベースを取り外します。(ネジ2本、クリップ6箇所)
4. インパネガーニッシュを取り外します。(ハザードスイッチコネクター、ツメ7箇所)
5. 車両ブラケット左右を取り外します。(ネジ4本、オーディオコネクター、アンテナコネクター)
6. 車両ブラケット左右からカバーを取り外します。(ネジ2本)
7. グローブボックスを取り外します。
8. ステアリングコラムアンダーカバーを取り外します。(クリップ1箇所、ツメ10箇所)

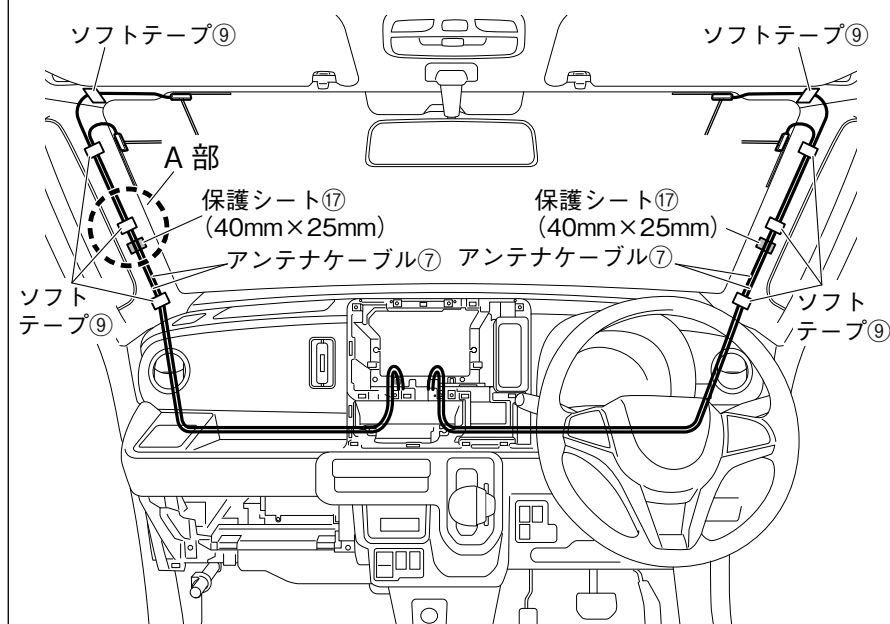
■ 保護シートの準備

保護シート (200×50mm) ⑰

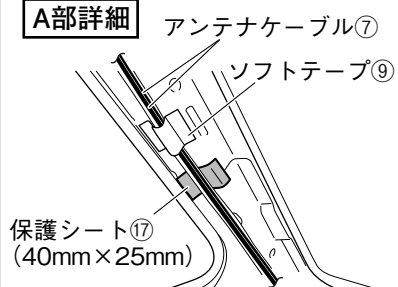
単位:mm

40×25	
40×25	

■ TV アンテナの配線と固定



A部詳細



※イラストは助手席側ですが、運転席側も同様に貼り付けてください。

1. 車両側の板金エッジ部と樹脂エッジ部を保護するため保護シート⑰を図のようにカットしてください。

▲ 注意

板金エッジ部に保護シート⑰を左図のように貼り付けてください。

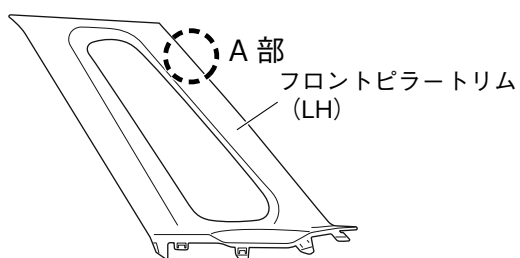
注 記

保護シート⑰を貼り付ける面の油汚れなどをきれいに拭き取ってください。

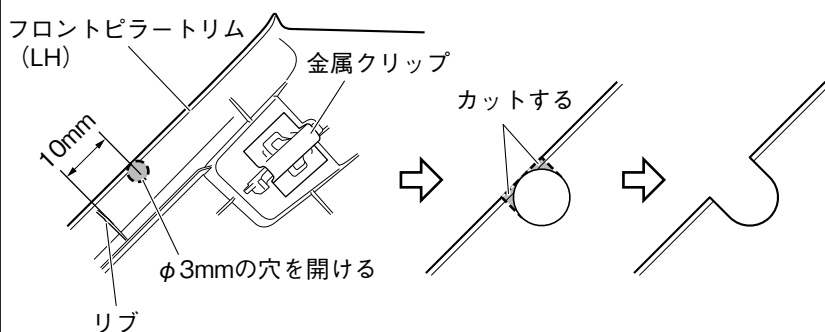
注 記

- ・アンテナケーブル⑦、ソフトテープ⑨および保護シート⑰は、カーテンエアバッグの部品と接触しないように配策・固定してください。
- ・ソフトテープ⑨および保護シート⑰でフロントピラートリムの固定クリップ穴をふさがないでください。また、フロントピラートリムの当てリブ部と干渉しないようにしてください。

〈フロントピラートリムの加工〉



＜A部を裏側から見た図＞



※イラストは左側ですが、右側も同様です。

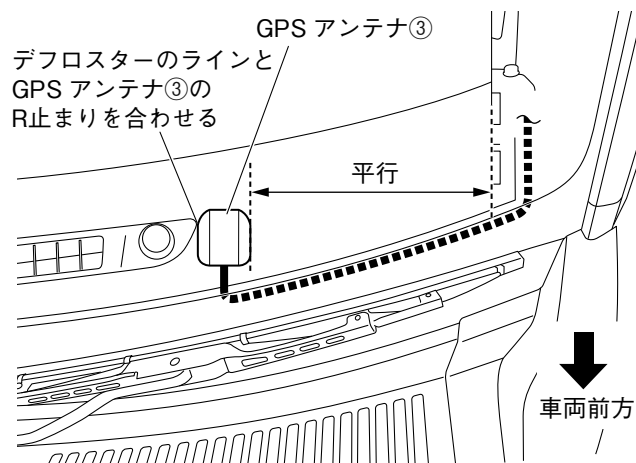
※ イラストは左側の説明ですが、右側も同様に切り欠き加工をしてください。

1. アンテナケーブル⑦を配線する際、フロントピラートリムにアンテナケーブル⑦がかみ込む場合は、丸ヤスリを使用して左図のように切り欠き加工をしてください。
2. 加工部のバリなどをヤスリ等で整えます。

⚠ 注意

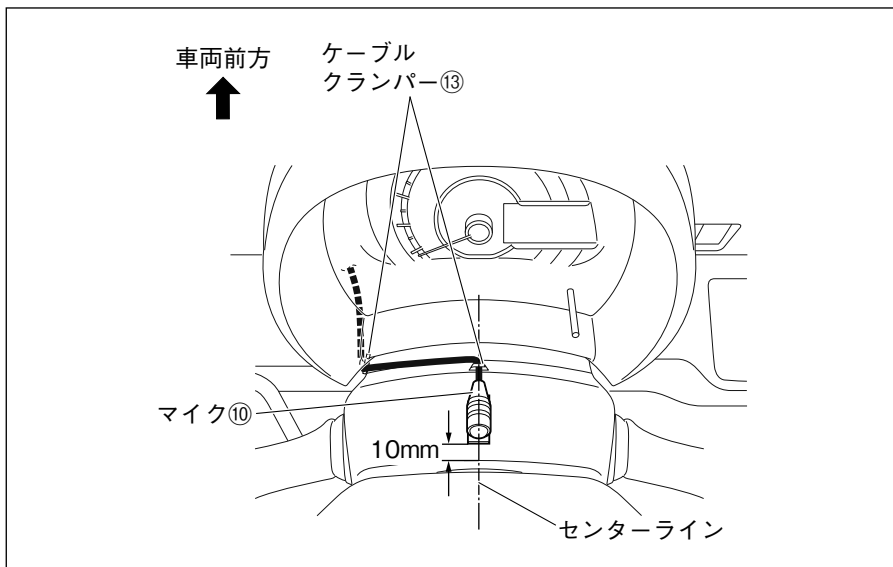
フロントピラートリムに傷を付けないでください。

■ GPS アンテナの取り付け



1. GPSアンテナ③を左図の位置に取り付けます。

■ マイクの取り付け



1. マイク⑩を左図の位置に取り付けます。
2. マイク⑩のケーブルをケーブルクランパー⑬で固定します。

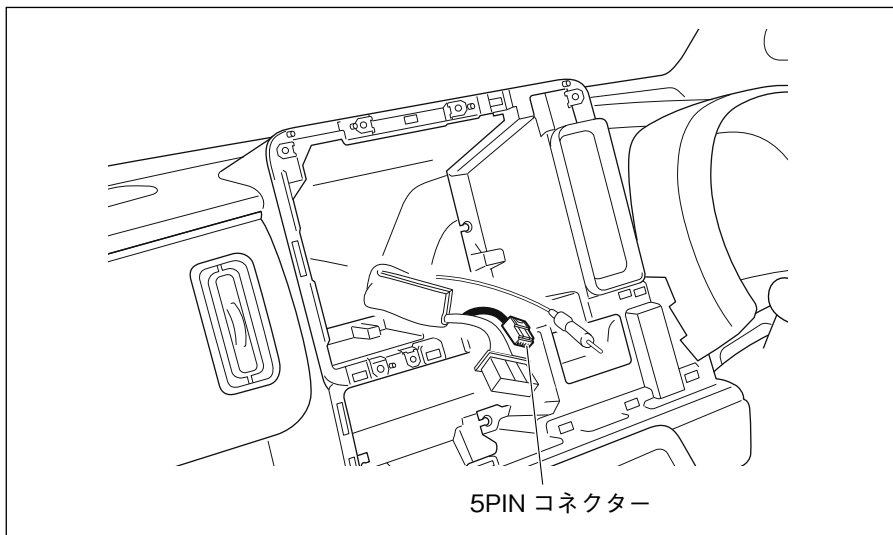
▲ 注意

マイク⑩およびケーブルクランパー⑬を貼り付ける面の油污れなどをきれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し固定できなくなります。

注 記

配線終了後、ステアリングのチルト操作等を行い、マイク⑩のケーブルと干渉しないことを確認してください。

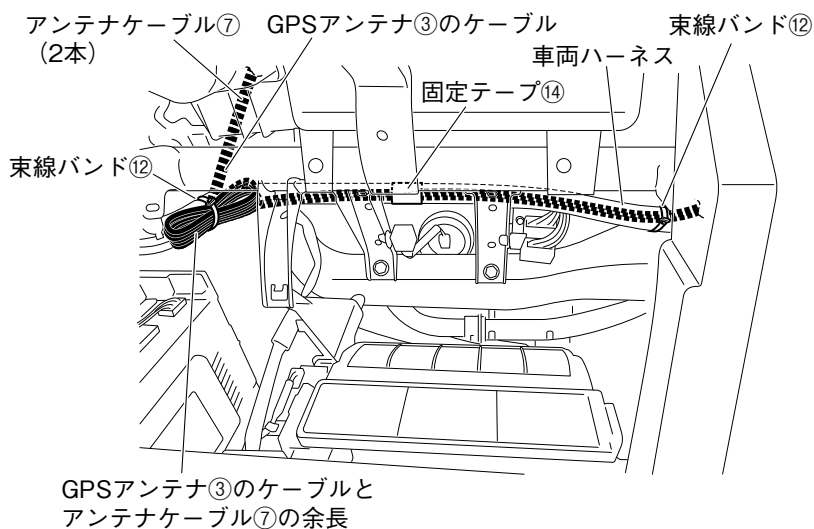
■ 車速信号、パーキング信号、バック信号の取り出し



1. 車両側5PINコネクターの線が車両ハーネスにテープで固定されているので、このテープを外します。
2. 車両側5PINコネクターを引き出します。

■ 配線

<助手席側：グローブボックス取り付け部奥の配線>

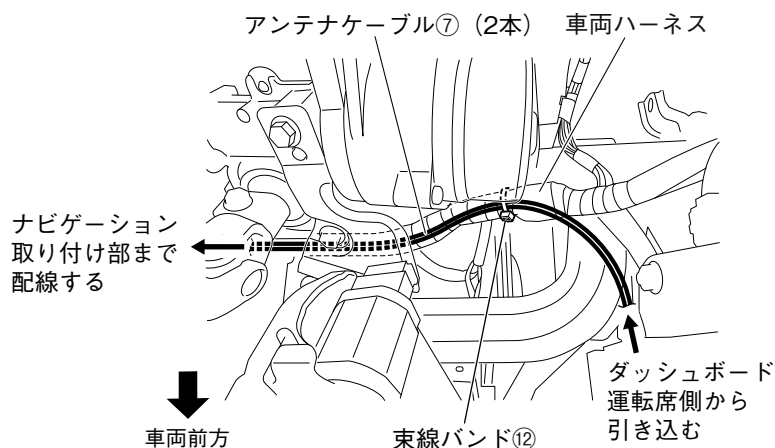


1. GPSアンテナ③のケーブル、アンテナケーブル⑦ (2本) をダッシュボード助手席側からグローブボックス取り付け部奥を通して、ナビゲーション取り付け部まで配線します。ケーブルは固定テープ⑭で車両ハーネスに固定し、余長は束線バンド⑫で車両ハーネスに固定します。

▲ 注意

余長はグローブボックスと干渉しないよう固定してください。

<運転席側：ステアリングコラム右上側>



2. アンテナケーブル⑦ (2本) をダッシュボード運転席側からステアリングコラム上を通して、ナビゲーション取り付け部まで配線します。マイク⑩のケーブルを束線バンド⑫で車両ハーネスに固定しながら、アンテナケーブル⑦と一緒にナビゲーション取り付け部まで配線します。

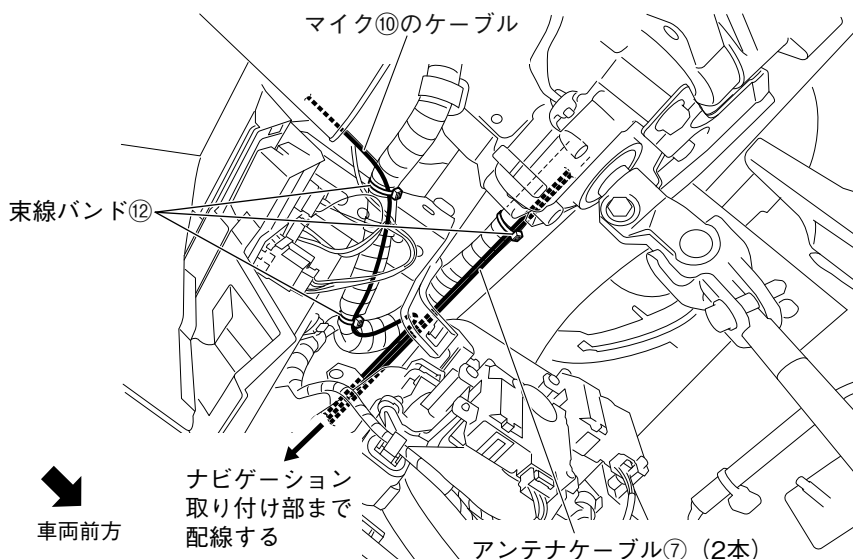
▲ 注意

ケーブル類をはさみ込まないようにしてください。

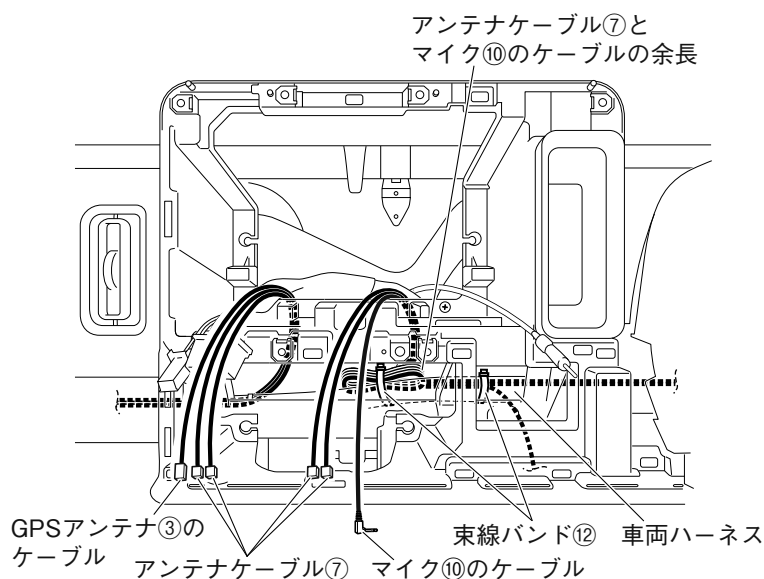
注 記

アンテナケーブル⑦を配線する際は、ETC 車載器 (別売品) と干渉しないように配線してください。

<運転席側：ステアリングコラム左上側>

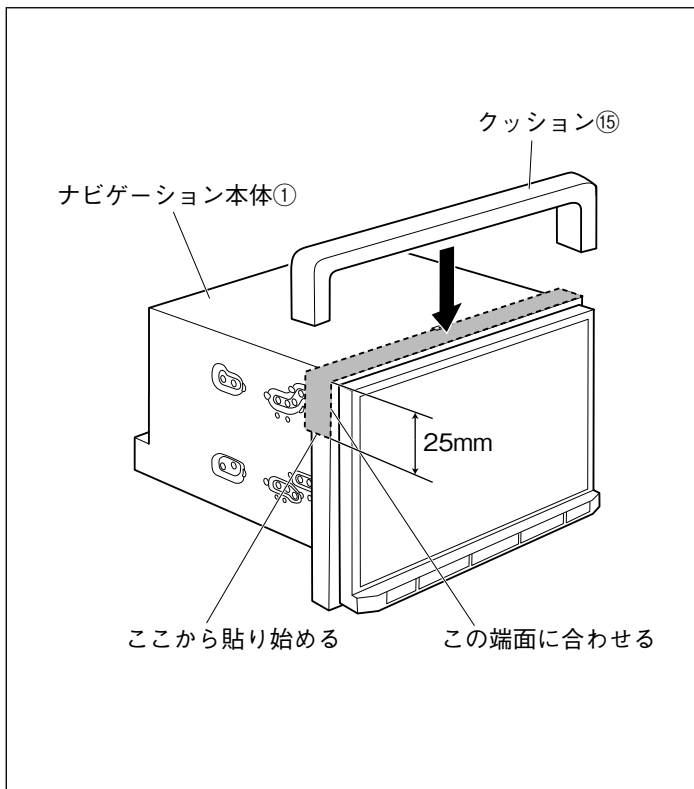


<ナビゲーション取り付け部の配線>



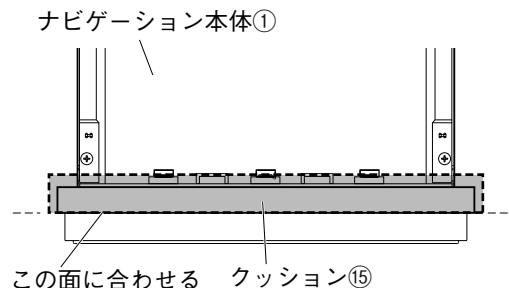
3. 運転席側から配線したアンテナケーブル⑦ (2本) の余長とマイク⑩のケーブルの余長を、束線バンド⑫で車両ハーネスに固定します
4. 助手席側から配線したGPSアンテナ③のケーブルとアンテナケーブル⑦ (2本) を引き出します。

■ ナビゲーションの取り付け

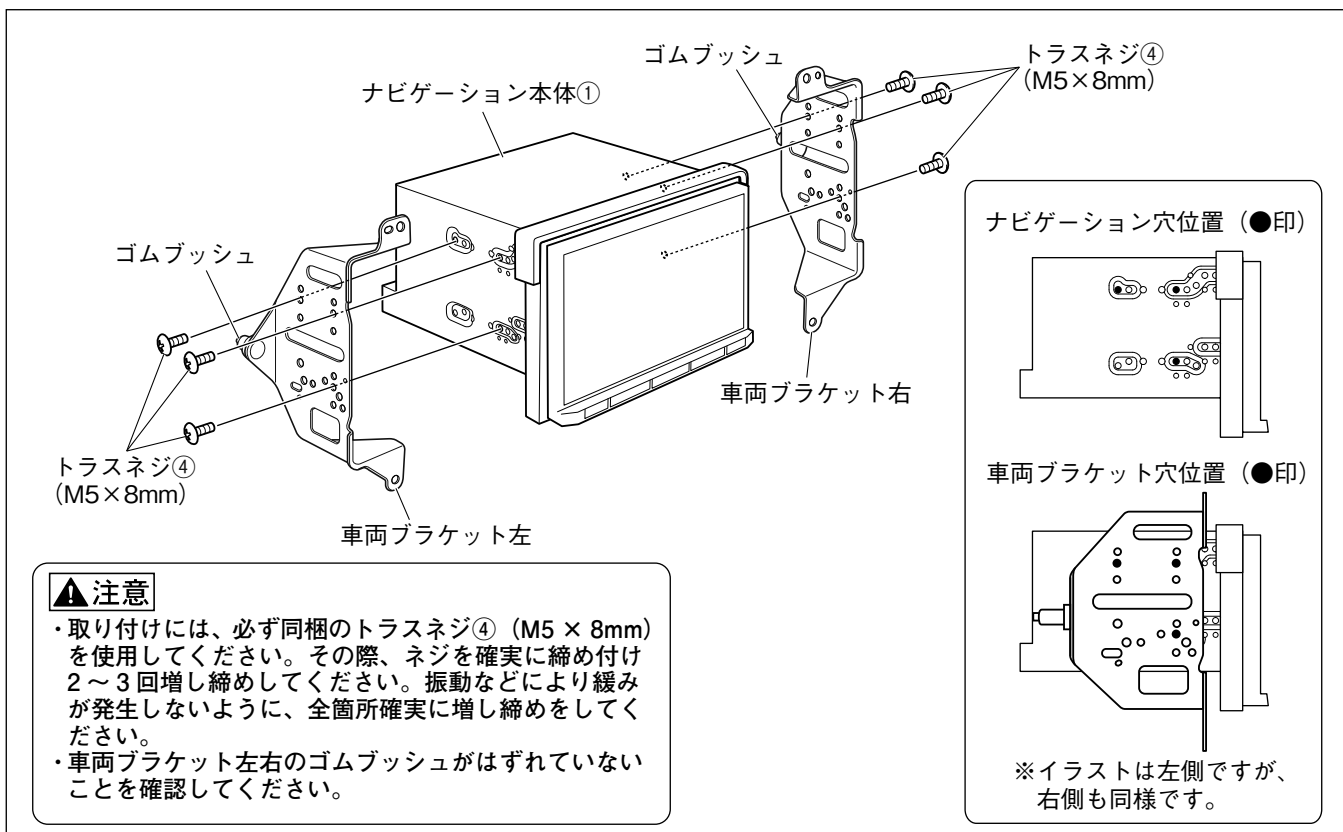
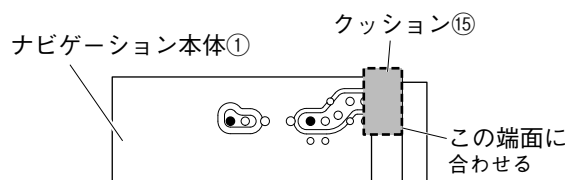


1. 共通編 P21 を参照してナビゲーション本体①にシート②を貼り付けます。
2. ナビゲーション本体①の図の位置にクッション⑮を貼り付けます。

<天面から見た図>



<ナビゲーション本体を横から見た図>

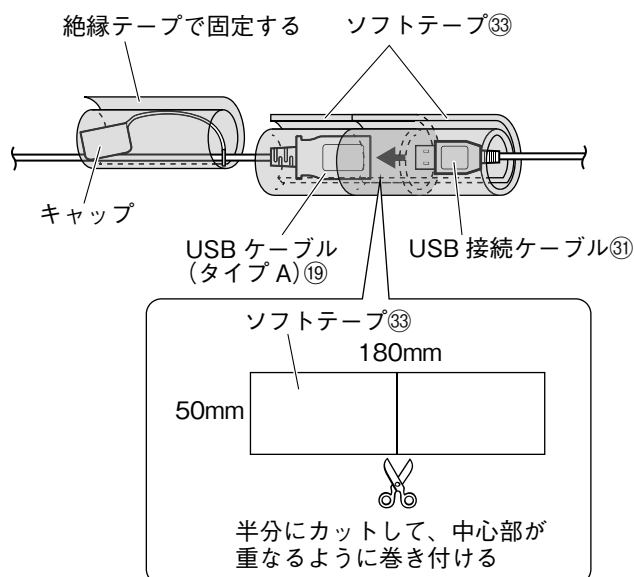


3. ナビゲーション本体①に車両ブラケット左右を取り付けます。

👉 アドバイス

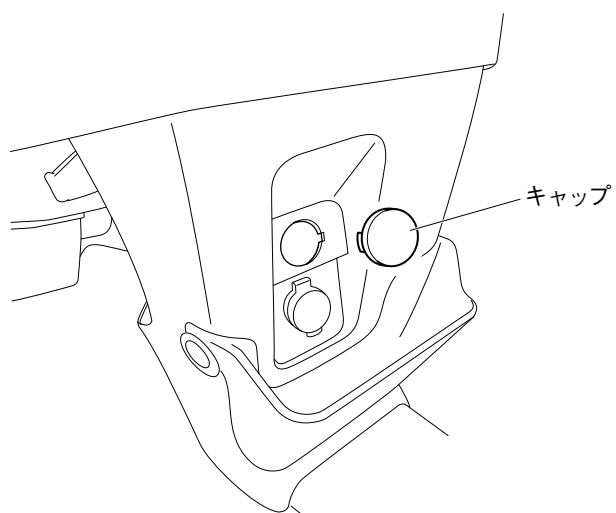
ナビゲーション本体①のネジ穴と車両ブラケット左右の穴が中心で合うように取り付けてください。

4. 共通編 P6 の結線図を参照してナビゲーション本体①にUSBケーブル (タイプ A) ⑮を接続し、背面カバー A⑳をバインドネジ (黒) (φ3×6mm) ㉑で固定します。

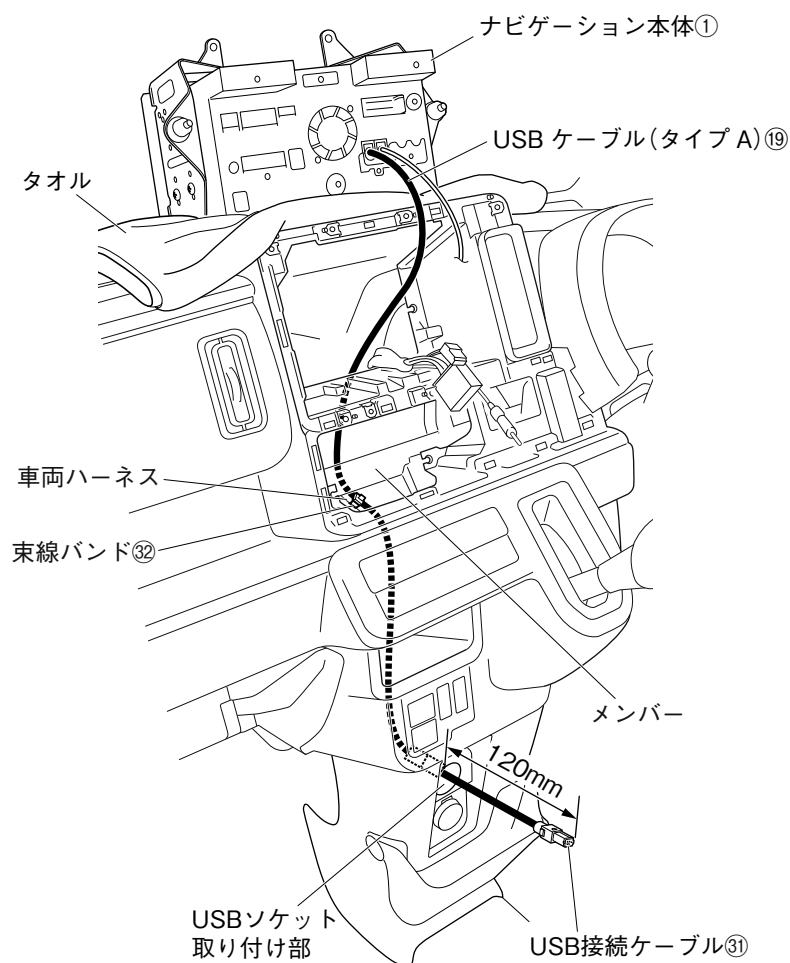


- USB ソケット (別売品) を使用する場合は、手順 5 へ進んでください。
- USB ソケット (別売品) を使用しない場合は、手順 12 へ進んでください。

- ナビゲーション本体①に接続した USB ケーブル (タイプ A) ①⑨ と USB 接続ケーブル③①を接続します。接続部は、異音と抜け防止のためソフトテープ③③を巻きます。取り外した USB のキャップは、絶縁テープで USB ケーブル (タイプ A) ①⑨ に巻いて固定してください。



- アクセサリソケットのキャップを取り外します。



7. ダッシュボードの上をタオルなどで保護し、ナビゲーション本体①を逆さにして置きます。

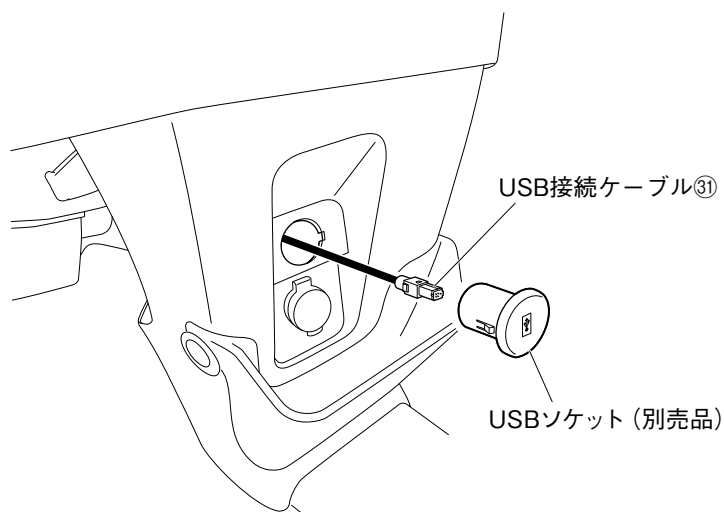
8. ナビゲーション本体①に接続したUSBケーブル(タイプA)⑱2本のうち1本をシフトパネル下まで配線し、USBソケット(別売品)を取り付ける穴から120mm出します。その際、USBケーブル(タイプA)⑱はメンバーの車両前方側を通してください。

9. 図のように配線し、束線バンド㉒で車両ハーネスに固定します。

※余長はありません。

▲ 注意

USB ケーブル(タイプ A) ⑱は、板金エッジ、樹脂エッジ、および可動部に干渉しないように配線してください。



10. USB接続ケーブル㉑とUSBソケット(別売品)を接続します。

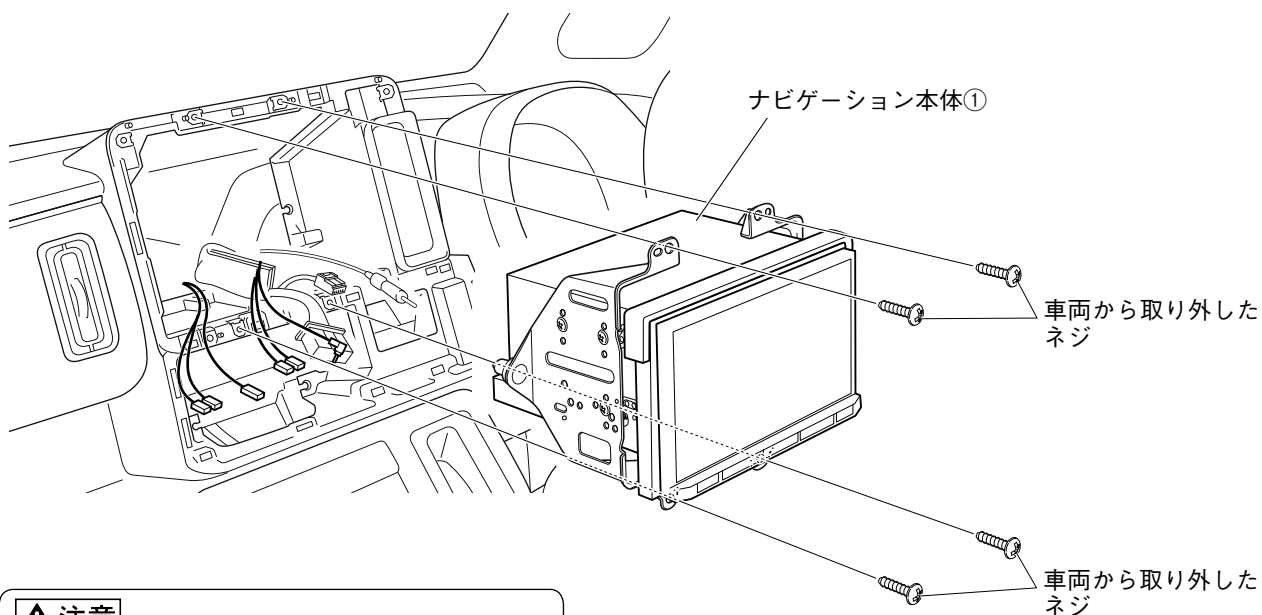
注 記

コネクターはカチッと音がするまで確実ににはめ込んでください。

11. USBソケット(別売品)を車両に取り付けます。

注 記

USBソケット(別売品)のツメが確実に掛かるように取り付けてください。



▲ 注意

車両ブラケット左右のゴムブッシュがはずれていないことを確認してください。

12. 結線図を参照して配線を接続します。

13. ナビゲーション本体①を車両へ取り付けます。

その際、ナビゲーション本体①に接続したUSBケーブル（タイプA）⑨をグローブボックス側へ配線します。（共通編P22を参照してUSBケーブル（タイプA）⑨の取付を行ってください。）

14. ナビゲーション本体①を車両から取り外したネジで車両に取り付けます。取り付ける際は、ゆるみのないよう締め付けてください。また、ネジおよび指示なきボルトは、がたや破損が発生しないトルクで締め付けてください。

注 記

- ・ナビゲーション本体①は、センターガーニッシュとのすき間が均等になるように取り付けてください。
- ・ハーネスやケーブルをコンソール内の空いている方に逃がすようにして取り付けてください。ナビゲーション本体①の裏側に固まっていると取り付けできない場合があります。
- ・ゴムブッシュ付近にケーブルやコードが掛からないようにして取り付けてください。ケーブルやコードを挟み込んだり、取り付けできない場合があります。
- ・ナビゲーション本体①は、上に押し上げるように取り付けてください。

● コード類を配線する際は、下記の点に注意してください。

▲ 警告

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類の配線時に金属部と接触するところは、絶縁テープを巻く
コード類の被覆が切れて金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

■ 車両部品の復元

1. 取り外しと逆の手順で取り付けます。

- ・ 車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締め付けトルク等)
- ・ 取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。
車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。

注 記 センターガーニッシュ復元の際、組み付け状態を確かめてください。

【組み付け状態確認方法】

意匠側からライト等でルーバー内を照らし、ルーバーとダクトのかん合状態を確認してください。
(ダクト先端部が見えている場合は正確にかん合されていません。)

※ スズキ セーフティサポート装着車で、標識認識機能において一時停止の表示機能が車両についている場合は、共通編P35を参照して、ナビゲーションの「一時停止の音声案内」と「一時停止の表示」の解除設定を行ってください。

● ネジの締め付けトルクが規定されているものがある場合は、規定のトルクで締め付けてください。